

会報



校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞

宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ
友と語らう 今日のよろこび
平和の小鳩 空たかく
ああ あふれる 智恵の泉
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ
友と夢みる 明日のしあわせ
文化の光 野にみちて
ああ きらめく 若き力
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場
日ごといそしむ 愛のまなびや
希望の旅路 雲とおく
ああ はばたく 智恵のつばさ
自由の学び舎 八王子学園



ご挨拶

八王子学園同窓会

会長 山田 実

平素は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

同窓会の活動も、卒業生諸氏を始め皆様方のご支援を戴きながら、滞りなく進めることが出来、感謝しております。

本年も同窓会総会を開催し皆様のお声を聴けることと楽しみにしております。しかし、数年陰をひそめていましたインフルエンザとコロナウィルスによるダブル感染が起きています。会員の皆様には健康に注意をされているものと思いますが、夏にインフルエンザの流行、併せてコロナウィルスも残っている状況です。平時のコロナ渦前の状況には戻れていません。現状では多数での飲酒を伴う懇親会の開催は好ましくないと考え、本年度も本校食堂で実施する運びで準備しております。会員皆様へのコロナ・インフルエンザなどのウィルス感染防止との観点から、ご理解をいただければ幸いです。同窓会会員の皆様にお詫び申し上げます。

活動報告や決算書などの書類は、例年通りこの会報に記載しております。なお過去の会報は、八王子学園ホームページの「卒業生の皆様」-「同窓会より」のページに過去10年分をアップしておりますのでご参照ください。

同窓会の活動ですが、激励金等の贈呈は少なく3件です。昨年同様に全国大会などの壮行会への参加はなく、同窓会の主要な活動も果たせていません。支援金等の贈呈は、男子バスケットボール部はウィンターカップ出場、インターハイ競泳で水泳部高校3年生の岡村 梨香さんが、女子400m自由形で2連覇、また、水泳部高校3年生の成嶋 義徳さんがジュニアパンパシフィック選手権に自由形で出場しました。生徒の活躍に拍手を送り、今後の成長と活躍を願っています。

昨年度は、3年毎の役員改選の年でした。皆様に承認していただいた理事は、会則では30名まで選出できますが、新任の理事1名を加え、理事6名と監事2名の役員8名です。同窓会を円滑に運営するには人数が足りない危機的な状態です。皆様の参画を心からお待ちしています。

コロナ渦で満足に同窓会総会を開催できず、過去3年の総会・懇親会は昨年の一回、幹事会は2回でした。このためコンスタントに出席いただいた会員各位の足が遠のいてしまったと感じています。同窓会総会への出席者を増やすことが重要な課題と考えています。

通常の生活を営むことが、とても貴重でかけがえのないものであることを噛みしめています。各種のウィルス感染が治まり、今までのように、大勢の同窓会会員が集まり、活気のある同窓会になることを願っています。

ご挨拶
—お礼、状況、今後への思い—

学校法人八王子学園

理事長 塚本吉紀

八王子学園卒業生の皆様には学校への支援、援助、協力を、また、在校生には諸機会に励ましを有難うございます。同窓会総会の開催おめでとうでございます。皆様にはお変わりなくご健勝にて日々送られていることをお喜び申し上げます。学校は感染症には最大の防御と注意を払い、対面授業を柱にし、学校生活は正常に進めています。

5年後の2028年に学園創立100周年を迎えます。それに向かい様々な記念行事等を企画立案しております。100周年という大きな節目だけに祝儀行事では同窓会の会員お一人お一人に経済面、活動面等にてお力をお借りしたいと思います。

今年度も中・高校生のスポーツの大会や文化関係のコンクールにて昨年に続き、地域や全国大会に出場し、いろいろのクラブが日々の練習成果を出していました。全国大会には男子バスケットボール部、水泳部、陸上部が出場し成果を、吹奏楽部はマーチングの東京都のコンクールで金賞（二校）、しかし、東京都代表に選ばれず涙を流しました。都や関東、全国の大会への出場の夢を楽しみに活動する生徒の思いや夢が現実となるよう多くの先生方やコーチが生徒に密着し、育てるご苦勞をされている姿を日々拝見し、感謝の気持ちでいっぱいです。静かに確実に、社会への貢献を目指し、素晴らしい活動をするボランティア部の活動は本園の誇りであります。このクラブの性格からそれによいかもしれませんが人間の教育、人の心の持ち方等々、人の成長に必要な資質を育み、考え実践するクラブなのです。

中高校生時代に体得してほしいグローバルな資質をと海外でのホームステイでの訪問滞在が、相手国の実情もあるが、残念ながら今年度も実施不可能でした。教師自らが言動で示す本園の教育理念「人格を尊重しよう」「平和を心に培おう」が授業、行事、友達間、地域で先生方の温かい支援と援助の言葉かけにて触れられることを願っています。生徒はその教育理念をしっかりと心に刻み自らの生活の中でその精神のもと努力をし、日々の生活を送ってほしい。多くの卒業生が築いてくれた社会での八王子学園の存在を、後輩がしっかりと見つめ理解し、肝に銘じ努力し、引き継いでくれることを卒業生は願っていると思います。

少子化が進む社会の中で、学校はどのような教育体系をとるのが望ましく、発展できるのかを問われていると思います。少子化で多くの保護者は我が子が「自分を磨き向上心や意欲を持ち、自分を活かせる人間に成長をしてほしい」との願いを持っていると思います。幼稚園で自ら「やろう、わかろう」の気持ちを育て、それを受け小学校で学びの意欲や向上心の礎を育てる教育、このような継続教育を望んでいますが、今の学園には小学校がなく“自らを磨く意欲”への継続教育が出来ないのが残念です。そんな中ではあるが「保護者が願う生徒像」、我が子を育てる学校として八王子学園を選ぶ保護者が多くなることを願っています。それには卒業生の声援や見本像が大きく影響を持つのではないのでしょうか。

最後になりましたが同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし末永い母校へのお力添えをお願いし、挨拶とさせていただきます。

同窓会総会に寄せて

八王子学園八王子中学校・高等学校

校長 齋藤 智文

八王子学園同窓会総会の開催、おめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、各界でご活躍のことと拝察し、お慶び申し上げます。同窓会の皆様からは日ごろから本校の諸活動に対しご支援を頂き、誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今年度から高等学校は「文理コース」を再編成し、「特選クラス・特進クラス・進学クラス」の3クラス体制といたしました。「特選クラス」は国公立大学を中心に探究学習に力点を置くクラス、「特進クラス」は国公立大学と私大進学の両方を視野に入れるクラス、「進学クラス」は私大進学を中心に部活動にも十分な時間が充てられるクラスとなっています。また、「総合コース」ではこれまでの文科系のグループを、文理系科目を幅広く学べる「リベラルアーツ系」に衣替えし、「音楽系」「美術系」とともに幅広い思考力と表現力を磨けるコースといたしました。7つの体育系強化指定クラブを対象にした「アスリートコース」とともに、なお一層の充実を図ってまいりたいと考えています。

また、中学校は「東大医進クラス」と「特進クラス」の2クラス制が定着し、毎年安定して100名前後の入学者を得ております。とくに昨年4月に東大医進クラスから東京大学に現役合格した生徒は、「プレゼンテーション能力が素晴らしい」と入学直後に大学の教員から称賛されたとのことです。

5年後の2028年には、学園創立100周年を迎えます。同時にこの年は、創立者である市川英作先生の生誕140年にもあたっております。現在それらに向けて様々な記念行事等を企画しており、諸資料を掲載する「記念誌」もその一つです。現在学園に残された資料の再整理を行っておりますが、残念ながら欠けている資料も少なくありません。もし、お手元に在学中の各種印刷物、写真、記念品などをご寄贈もしくは複写のご許可を頂けるものがございましたら、本校までご一報いただきたく存じます。貴重な資料として次の100年に引き継いでまいりたいと存じます。ぜひともご協力のほどをお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

◆2023年度入試進路結果概略

4月5日現在

1. 卒業生進路内訳

		男 子	女 子	合 計
進 学	四年制大学	177 (82.33%)	232 (86.57%)	409 (84.68%)
	短期大学	0 (0.00%)	4 (1.49%)	4 (0.83%)
	専門学校	5 (2.33%)	10 (3.73%)	15 (3.11%)
就 職		0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
進路未定 (受験浪人・無業者含む)		34 (15.81%)	21 (7.84%)	55 (11.39%)
卒業生 合計		215 (100%)	268 (100%)	483 (100%)

*共通テスト出願者335名

2. 大学別入試結果

全クラス合計				
大学名	学部名	現役	過年	合計
弘前	理工	1		1
東北	歯	1		1
福島	農	1		1
茨城	工		1	1
宇都宮	工		1	1
埼玉	理	1		1
電気通信	情報理工(昼間)	1	1	2
東京外国語	国際社会	2		2
東京学芸	教育	2		2
東京芸術	美術	1		1
東京海洋	海洋生命科		1	1
東京農工	工	3		3
一橋	経済	1		1
横浜国立	教育	1		1
横浜国立	都市科学	1		1
山梨	工	1		1
信州	医(医)	1		1
山口	工	1		1
大分	医(先進-生命)		1	1
高崎経済	地域政策	1		1
東京都立	人文社会	2		2
東京都立	法	2		2
東京都立	経済経営	1		1
東京都立	理	2		2
東京都立	都市環境	2		2
東京都立	システムデザイン	4		4
東京都立	健康福祉		1	1
都留文科	教養	1		1
公立諏訪東京理科	工		1	1
国公立合計		34	7	41
早稲田	教育	5		5
早稲田	文化構想	1		1
早稲田	社会科学	1		1
早稲田	国際教養	2		2
早稲田	法	1		1
早稲田	商	1		1
早稲田	創造理工	1		1
早稲田	先進理工	3		3
早稲田	スポーツ科学	2		2
早稲田	人間科学	1		1
早稲田合計		18	0	18
慶應義塾	文	2		2
慶應義塾	法	1		1
慶應義塾	経済	1		1
慶應義塾	商	2		2
慶應義塾	理工		1	1
慶應義塾	薬	1		1
慶應義塾	看護医療	1		1
慶応合計		8	1	9
上智		7	1	8
東京理科		13	3	16
早慶上智理科大合計		46	5	51
明治		33	2	35
青山学院		27	2	29
立教		16	1	17
中央		35	1	36
法政		58	4	62
MARCH合計		169	10	179
成蹊		17	2	19
成城		18	1	19
学習院		7		7
明治学院		26	5	31
國學院		11	8	19
成成学明國合計		79	16	95

全クラス合計				
大学名	学部名	現役	過年	合計
津田塾		14		14
東京女子		9	1	10
日本女子		2		2
主要女子大合計		25	1	26
日本		36	9	45
東洋		28	3	31
駒澤		9	3	12
専修		21	3	24
日東駒専合計		94	18	112
芝浦工業		7	2	9
東京都市		9		9
工学院		12	1	13
東京電機		4	3	7
四工大合計		32	6	38
関西			2	2
関西学院		6		6
同志社		3		3
立命館		1		1
関関同立合計		10	2	12
医歯薬系				
信州	医	1		1
北里	医	1		1
杏林	医	1		1
東北	歯	1		1
日本	歯		1	1
日本歯科	生命歯		1	1
国際医療福祉	薬		1	1
日本薬科	薬	2		2
帝京平成	薬	4		4
北里	薬	2		2
慶應義塾	薬	1		1
昭和薬科	薬	3		3
帝京	薬	2		2
東京薬科	薬	11		11
東京理科	薬	1		1
日本	薬	1		1
星薬科	薬	3		3
武蔵野	薬	3		3
明治薬科	薬	1		1
横浜薬科	薬	4		4
北陸	薬	1		1
麻布	獣医		1	1
岡山理科	獣医	1		1
医歯薬獣医合計		44	4	48
音楽系				
尚美学園	芸術情報	1		1
桜美林	芸術文化	2		2
国立音楽	音楽	2		2
武蔵野音楽	音楽	3		3
昭和音楽	音楽	1	1	2
洗足音楽	音楽	1		1
フェリス女学院	音楽	1		1
音楽大合計		11	1	12
美術系				
東京学芸	教育(中等美術)	1		1
東京芸術	美術	1		1
女子美術	芸術	1		1
多摩美術	美術	10	2	12
東京工芸	芸術	2		2
東京造形	造形	9	1	10
日本	芸術	1		1
武蔵野美術	美術	8		8
横浜美術	芸術	1		1
美術大合計		34	3	37

定期総会次第

令和5(2023)年11月5日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 山田 実
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 塚本吉紀 殿
八王子学園八王子中学校・高等学校
校長 齋藤智文 殿
- ◇ 議長等の選任 議長 林 守 (高校25回)
書記 田中克子 (高校14回)
議事録署名人 山田 実 (高校25回)
根本 明 (高校16回)
- ◎ 議 事
 - 令和4年度 事業報告
 - 〃 決算報告
 - 〃 監査報告
 - 令和5年度 事業計画
 - 〃 予 算
 - その他
- ◇ 議長解任
- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

令和4年度 事業報告

◎支援金等の贈呈について

本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍がありました。そこで、本会では母校在校生の芸術並びにスポーツ等の部門で優れた活動、成果に対し同窓会の事業の一環として「支援金等支給規定」に基づき之を顕彰し支援金等を贈呈した。

◎同窓会報の発行

令和4年11月 1日 同窓会報第24号を発行した。

◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた電波時計を贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に配布した。

◎会議等の開催、他

令和4年10月 8日 決算監査及び幹事会を開催した。

11月 6日 総会を開催した。

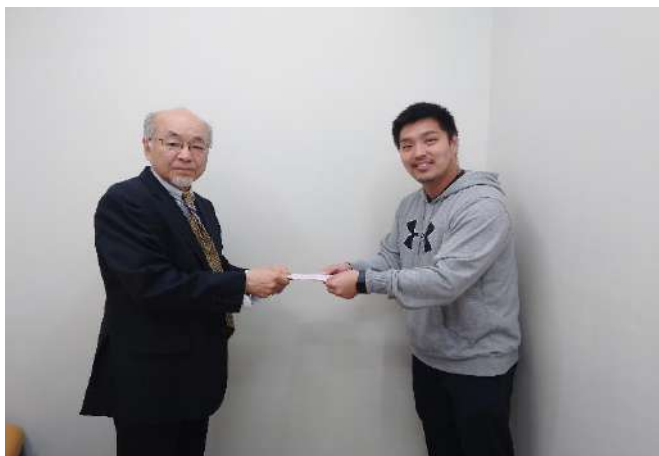
11月17日 男子バスケットボール部ウインターカップ出場に際し激励金を贈呈する。※1

11月22日 水泳部高校3年岡村梨香さんインターハイ400M自由形で2年連続優勝。これを祝し激励金を贈呈する。※2

12月19日 水泳部高校3年成嶋義徳さんジュニアパンパシフィック選手権出場（自由形）に際し激励金を贈呈する。

令和5年 5月20日 役員会を開催した。

9月30日 役員会を開催した。



※1



※2

監査報告書

令和5年10月14日

八王子学園同窓会

会長 山田 実 殿

監 事 坂本利男 

監 事 長谷部建司 

私共は、八王子学園同窓会の令和4年度（第82回、令和4年10月1日から令和5年9月30日まで）収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

記

八王子学園同窓会の令和4年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

令和4年度(第82回) 八王子学園同窓会収支報告

自 令和4年10月 1日
至 令和5年 9月30日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	15,394,818	15,394,818	普通預金(10,207,379円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円)、郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,381,000	3,381,000	@7,000円×卒業生483名
預 金 利 息	80	88	普通預金利息
雑 収 入	20,000	0	
合 計	18,795,898	18,775,906	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	300,000	11,994	総会前、事前打ち合わせ参集者食事代及び総会終了後の懇親会費を含む
会 議 費	150,000	115,420	役員会々議費(46,720円)、幹事会々議費(68,700円)
印 刷 製 本 費	300,000	255,530	卒業生配布用会報印刷代(234,740円)、幹事会開催通知印刷代(20,790円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	89,320	幹事委嘱状郵送用切手代(3,640円)、幹事会開催通知用往復ハガキ代(79,380円) 官製ハガキ代(6,300円)
交 通 費	20,000	0	役員交通費(遠方来校者交通費) ※令和5年度にて支給
支 援 費	1,500,000	1,085,000	クラブ支援金等(支援金715,000円、激励金200,000円、八学杯等協賛金170,000円)
慶 弔 費	30,000	0	
諸 会 費	20,000	0	
記 念 品 費	550,000	551,760	卒業記念品代(電波時計 @1,140円×484個)
雑 費	50,000	0	
予 備 費	2,300,000	0	コロナ禍により同窓会創立80周年記念事業開催中止
合 計	5,520,000	2,259,024	

差 引 残 高	13,275,898	16,516,882	次年度繰越金 普通預金(11,329,443円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
---------	------------	------------	--

令和4年度 クラブ別支援費内訳

クラブ名	金額
書 道 部	40,000 円
陸 上 競 技 部	150,000 円
男子バスケットボール部	360,000 円
水 泳 部	370,000 円
柔 道 部	165,000 円
計	1,085,000 円

令和5年度 事業計画

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めて参ります。

なお、令和3年度に実施を予定しておりました同窓会創立80周年記念事業はコロナ禍により延期しておりますが、本年度実施の際は事業計画等について変更になる場合があります。

◎支援金等の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施して参ります。

◎同窓会報の発行

同窓会報を令和5年11月1日に発行します。また3月には新会員用（卒業生用）の会報を作成し、配布する予定です。

◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。

◎会議等の開催

三役会、理事会、役員会、幹事会等の会議を必要に応じ開催します。

◇令和5年度 開催予定

令和6年	5月18日（土）	役員会	午後5時（時間未定）
	9月14日（土）	〃	〃（時間未定）
	10月12日（土）	幹事会	午後6時

— 令和5年度定期総会のお知らせ —

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 令和6年11月3日（日）午後1時より

会場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催する予定です。

令和5年度(第83回) 八王子学園同窓会収支予算

自 令和5年10月 1日
至 令和6年 9月30日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	16,516,882	普通預金(11,329,443円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円)、郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,045,000	@7,000円×卒業生435名
預 金 利 息	90	普通預金利息
雑 収 入	20,000	
合 計	19,581,972	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	30,000	総会々食代、他
会 議 費	150,000	役員会・理事会・三役会・幹事会等会議費、他
印 刷 製 本 費	300,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会開催通知印刷代、他
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会開催通知用往復ハガキ代、他
交 通 費	20,000	役員交通費、他
支 援 費	1,500,000	クラブ支援金、他
慶 弔 費	30,000	
諸 会 費	20,000	
記 念 品 費	600,000	卒業記念品代、他
雑 費	30,000	
予 備 費	2,300,000	同窓会創立80周年記念事業費、他
合 計	5,280,000	

差 引 残 高	14,301,972	次年度繰越金 普通預金(9,114,533円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
---------	------------	---

支援金支給クラブの活動報告



同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年のご報告を致します。まずは8/10(木)～15(火)府中の森芸術劇場で行われた『第63回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。一昨年度同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A,C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、A組は無事に東京都大会へ駒を進め、B,C組は金賞の中でも第1位に当たる最優秀賞を受賞しました。相変わらずコロナに翻弄され、出場を断念せざるを得ない生徒も出てしまいましたが、コンクール自体には無事に出場することができ、また全組が最高位を受賞するというこれ以上ない結果を残すことができ、本当に良かったです。

続いて、8/26(土)にエスフォルタアリーナ八王子で開催された『第36回全日本マーチングコンテスト東京都大会』高等学校以上の部に出場しました。今年の出場団体はなんと2団体となってしまい、正に一騎打ちという状態での大会となりました。結果は金賞を受賞するものの、



全国大会出場は叶いませんでした。本番は上出来で、点差も非常に僅差あっただけに悔しさを隠せませんでした。生徒たちにとってこの経験はかけがえのないものになっていることは間違いありません。

2学期が始まり、次の大勝負となる『第63回東京都吹奏楽コンクール』が9/10(日)に開催され、A組のメンバーが出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した56校のうち上位12校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しま



した。今年は、本校を含む6校が金賞を受賞、その中の上位2団体が全国大会への推薦を受けますが、残念ながら本校は選出されませんでした。こちらも大変悔しい結果となりましたが、真摯に受け止め、また来年に繋げていきたいと思えます。

12月には、4泊5日で香港&マカオ演奏旅行が計画されております。パレードやコンサート、交流会等を含む5回の本番をいただいております、かなりの弾丸ツアーとなりますが、健康には留意しつつ日本の高校生による吹奏楽の素晴らしさをしっかり伝えられるように準備して参ります。このような願ってもない話をいただけること、またそれを実行させていただけること、それはまさに日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者、保護者の方々、その他本当に多くの方々のお陰と心より感謝申し上げます。今できることに精一杯向き合い、一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくご報告致します。

令和5年10月2日

八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 2022～2023年 活動報告

顧問 笹川裕子

コーチ 鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

2022年10月から2023年9月までの期間のご報告です。

現在の部員数は13名(内中学生5名)で、全て女子です。

- 2022年10月は毎日新聞社主催の「第30回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会に出品。今回の「書の甲子園」は13の国・地域から計10,688点の応募がありました。全紙大(137cm×75cm)または半切大(137cm×37.5cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。

2022年10月 「書の甲子園」

入選	3年	小嶋 小雪
入選	3年	小林 愛夏莉

この2人は、3年連続で入選しました！

- 2022年11月には創玄書道会主催の「第59回全国競書大会」に出品しました。「全国競書大会」は、小学校入学前の幼児から小学生、中学生、高校生、そして一般と、誰もが気軽に参加することができ、日常の勉強で慣れ親しんでいる半紙を主体としたコンクールです。出品料は350円で、各自諸経費で徴収しています。

八王子学園八王子中学高等学校は、「優秀団体賞」に輝きました。

2022年11月 「全国競書大会」

毎日新聞社賞	3-2	小嶋 小雪
大会委員長賞	1-10	川村 陽莉
大会委員長賞	1-11	橋本 茉愛子
大会委員長賞	1-11	原田 沙織
学年優秀賞	1-12	奥田 陽香
奨励賞	3-1	小林 愛夏莉
奨励賞	1-7	安村 和音
奨励賞	S3-3	秋元 柚乃
奨励賞	S3-3	田中 杏音
奨励賞	S2-3	田村 彩華
奨励賞	S2-3	安藤 万桜
奨励賞	S1-2	真下 七星



毎日新聞社賞を受賞した小嶋さんの作品です。

●2023年3月は「第59回創玄展」と併設している「第59回創玄学生展」に出品しました。作品の表装料は同窓会から援助して頂きました。

※中学2・3年生につきましては、授業内で実施し、希望者のみ自費による装丁となりましたので、同窓会より援助いただいたのは中学2・3年生を除く9名分です。

2023年 3月 「創玄学生展」

学年優秀賞	3-1	小林 愛夏莉
学年優秀賞	3-2	小嶋 小雪
奨励賞	1-7	安村 和音
奨励賞	1-10	川村 陽莉
奨励賞	1-11	橋本 茉愛子
奨励賞	1-11	原田 沙織
奨励賞	1-12	奥田 陽香
奨励賞	1-13	荻原 莉菜
奨励賞	S3-3	秋元 柚乃
奨励賞	S3-3	田中 杏音
奨励賞	S2-3	田村 彩華
奨励賞	S2-3	安藤 万桜
奨励賞	S1-2	真下 七星

新年度になり、新入生歓迎パフォーマンスを行ったほか、三井アウトレットパーク多摩南大沢で3年ぶりに開催された「南大沢学園祭 2023」にも参加しました。学園祭では、二日ともに午後、パフォーマンスを実施。3年ぶりに開催された中夜祭においても、パフォーマンスを披露しました。

柔道部顧問 就任に際してのご挨拶

八王子学園柔道部

顧問 櫻井 怜央

八王子学園の同窓会におかれましては、日頃より柔道部に温かいご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、平成 29 年度に八王子学園八王子高等学校を卒業し、大学での教員養成課程を経て、昨年、非常勤講師として母校に帰ってくることができました。



この 4 月からは、保健体育科の専任教諭、柔道部の顧問として勤めさせていただいております。恩師でもある監督の川野先生からは、柔道の指導法・指導者としての在り方など様々なことを教えていただき、勉強、勉強の毎日を過ごしております。

川野先生がつくりあげてきた八王子学園柔道部の良さは“OBが頻繁に帰ってくる”というところに表れていると思います。そしてOBが集まると必ずといっていいほど「あの 3 年間があるから今の自分がある。」「あのきつい 3 年間を乗り越えた経験があるから大抵のことは乗り越えられる。」という話になります。ここでの経験をかけがえのないものとして捉え、下の世代にも同じ経験をしてほしいと柔道部を手伝いに帰ってきてくれる。下の世代は OBから協力してもらったことも含めて、良い経験だったとして、さらに下の世代につないでいくという良い循環ができています。そして川野先生の 1 年目の卒業生から現在の部員までが強い絆で繋がっています。

これから私のチーム作りが始まっていきますが、武道の基本は守破離です。この循環・絆を絶やさず、自分の良さも取り入れていくことで、よりよいチーム作りを目指していきたいと思っています。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、これまでの柔道部が残してきた足跡と、近年の大会のご報告を記させていただきます。ご参照ください。

《関東・全国以上の戦績》

- ☆関東高校柔道大会 男子団体戦 (23 回出場、ベスト 8 入賞 2 回)
男子個人戦 (2 名出場、5 位入賞他)
女子個人戦 (10 回出場、準優勝 1 名、3 位 2 名)
- ☆インターハイ 女子団体戦 (2 回出場)
男子個人戦 (4 名出場、3 位 1 名、5 位 2 名他)
- ☆金鷲旗争奪全国大会 男子団体戦 (ベスト 16 入賞 2 回、ベスト 32 入賞 5 回)
女子団体戦 (3 回出場)
- ☆全国体育系柔道大会 男子団体戦 (13 回出場、優勝 1 回、準優勝 1 回、3 位 4 回)
- ☆全国高校柔道選手権 男子団体戦 (2 回出場)
男子個人戦 (1 名出場、5 位入賞)
女子個人戦 (10 回出場、準優勝 1 名、3 位 1 名、5 位 2 名)

《令和 3 年・4 年・5 年度東京都高体連関連の戦績》

- ☆令和 3 年度関東高校柔道大会東京都大会
団体戦 5 位 ※関東大会出場 21 回目
無差別級 5 位 (松下 康生) (野中 洸希) (杉山 琢飛)
- ☆令和 3 年度インターハイ東京都大会
団体戦 5 位
100kg 級 3 位 (杉山 琢飛)
100kg 超級 5 位 (野中 洸希) (松下 康生)
- ☆令和 4 年度関東高校柔道大会東京都大会
団体戦 5 位 ※関東大会出場 22 回目 第 9 位
- ☆令和 4 年度インターハイ東京都大会
団体戦 5 位
60kg 級 5 位 (小嶋 武蔵)
100kg 級 5 位 (杉山 琢飛) (平野 幸司朗)
100kg 超級 5 位 (西野 賢惺)
- ☆令和 5 年度関東高校柔道大会東京都大会
団体戦 5 位 ※関東大会出場 23 回目 第 9 位
- ☆令和 5 年度インターハイ東京都大会
団体戦 5 位
60kg 級 2 位 (小嶋 武蔵)
100kg 超級 3 位 (西野 賢惺)

毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

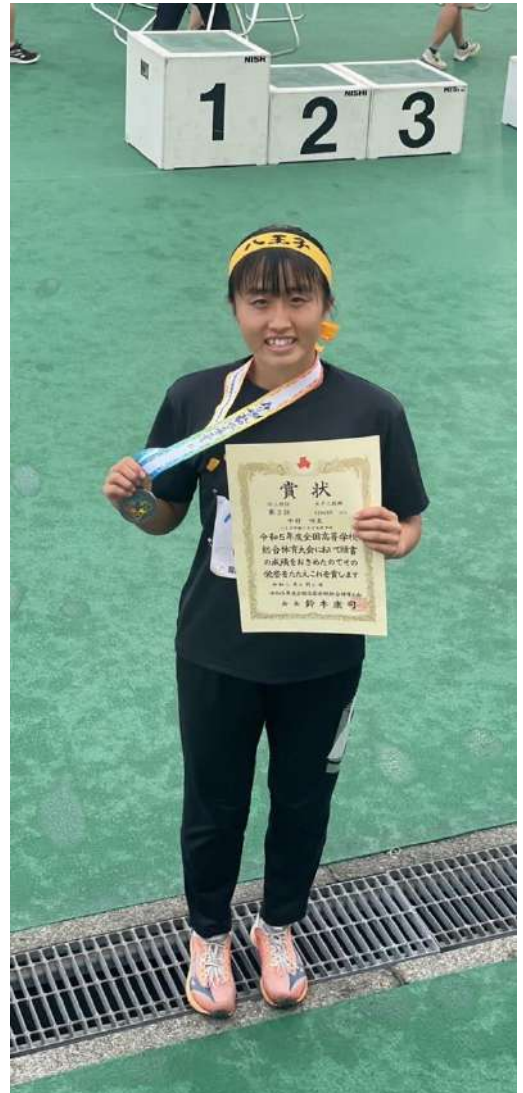
日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や支援金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合6位、女子は2位という結果を残しました。この都大会の結果をうけて、山梨県 JIT リサイクルリンク スタジアムで行われた関東大会には多人数の出場となりました。関東大会では、男子2名女子8名が6位以内に入賞し、6種目10名が8月2日から8月6日まで北海道厚別公園競技場で行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは、女子三段跳で2位に入賞することができました。現在、有望な1・2年生が多くいるので、来年はより多くの入賞者を出すことを目標としていきたいと思えます。また6月には、U20 日本陸上競技選手権大会が大阪ヤンマースタジアム長居でおこなわれ、女子走幅跳で7位に入賞しました。

現在は都新人大会（9月18、23、24日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者は、10月に埼玉県で開催される関東選抜新人大会に出場できます。また、10月に鹿児島で開催される国体に2名が東京都代表として選出されました。同じく10月に開催される U18・16 日本選手権においても全国レベルの標準記録を突破し、4名がエントリーしています。

U18・16 日本選手権、国体、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては、来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、11月3日に行われる都駅伝では、男子のみの出場になりますが、6位入賞（関東大会出場）を目標に練習に励んでいます。

来年度におきましては今年の悔しさをバネに、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思えます。今後とも応援の程よろしくお願い致します。



【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校
男子バスケットボール部

顧問 伊東 純希

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

今年度は、関東大会予選、インターハイ予選で優勝することが出来ました。インターハイでは、準優勝のチームと対戦し、惜しくも負けてしまいましたが、ウィンターカップに向けてとても良い経験となりました。現在はウィンターカップ予選に向けて日々練習に励んでおります。



また、本校より国民体育大会3名が選出されました（1年：佐藤、照井、畠山）。予選を勝ち上がり、鹿児島県で行われる国民体育大会に出場が決まりました。本校の選手が全国レベルにおいて高い評価を受けるに至っております。

今後は高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ20回出場、関東大会22回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いたします。



2023年度 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2022年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生年生の新たなチームで活動を開始し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会では、新チームとしての初めての試合に臨みました。

男女の新キャプテンのもと、個人の自己新記録更新は勿論、チームとして準備・応援・レースをし、全員が少しでもチームに貢献出来るよう一生懸命取り組みました。この試合の結果は、男子総合5位・女子総合1位でした。

2023年4月、男子6名・女子6名の新人部員を迎え、男女合計37名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。

コロナ流行前は、毎年GWは岐阜県大垣市で合宿を行っていましたが、今年度も5類移行前ということで大学のプールをお借りできず、岐阜での合宿はできませんでした。その代わりに、今年度は穎明館中学高等学校のプールをお借りして穎明館高校水泳部と合同練習をしました。現在、穎明館中学高等学校の水泳部の顧問に本校水泳部卒業生の小坂真軌がいるため、場所の提供やメニュー作成まで色々と助けて貰い実施することができました。

今年度の目標も昨年同様、東京都高体連が主催する3大会で女子総合優勝とインターハイ総合入賞を目標に掲げました。

4月4日～9日、日本最高峰の試合・第92回日本選手権水泳競技大会に、3年7組の伊藤ななみ、3年9組の澤響花、3年9組内藤花音、3年14組の鈴木莉緒、1年10組の西村すみれ、1年14組の佐藤琴美の6名が出場しました。

6月24・25日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京アクアティクスセンターで行われました。今年度からこの新しい会場で高体連の大会も実施され、目標通り、女子総合優勝を果たすことが出来ました。また、関東大会に22名の出場が決まりました。

7月20日～22日に東京アクアティクスセンターにて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選（インターハイ予選）が行われました。その結果、男女合計18名の選手がインターハイの出場権を得ました。

8月17日～20日に全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が北海道立野幌総合運動公園水泳プールにて行われました。この大会も最初に目標とした女子総合入賞を果たし、総合3位という結果を残すことが出来ました。個人種目の得点、リレーの得点で競う学校対抗となるこの大会で総合3位という結果はチーム全体の団結力の結果でもと思っています。詳細は、3年14組の鈴木莉緒は50m自由形3位、100m自由形2位、3年7組の伊藤ななみは100m背泳ぎ6位、200m背泳ぎ5位、3年9組の澤響花は100m背泳ぎ4位、3年9組の内藤花音は100mバタフライ4位、1年14組の佐藤琴美は200m平泳ぎ6位でした。また、女子4×100mフリーリレー6位（鈴木莉緒、内藤花音、太田煌、澤響花）、女子4×100mメドレーリレー3位（澤響花、佐藤琴美、内藤花音、鈴木莉緒）でした。その他、B決勝（16位



以内)に残った選手も得点を稼ぎ、総合成績に貢献してくれました。今大会は多くの選手が表彰台に乗り、また、コロナ後、久しぶりにチームで応援もできた大会だったため、決勝では大変盛り上がりました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体出場の選手が選考されますが、今年度は本校から3年7組の伊藤ななみ、3年9組の澤響花、3年14組の鈴木莉緒、1年10組の西村すみれ、1年14組の佐藤琴美、1年14組の間瀬知尚の6名が東京都代表選手と選出され、総合優勝に貢献できました。

また、4年ぶりに開催された三多摩大会(8月29日実施)では、今年も男女総合優勝を果たすことが出来ました。これで男子は49連覇になります。

9月16日・17日に新チームのもとで行われました新人戦では、国体出場のため主力選手が抜け、男子8名、女子6名で臨みましたが、男子総合3位、女子総合3位でした。

今年度はほぼコロナ前の状態に戻った大会でしたが、これまでずっと応援も禁止だったため、在校生の誰も応援の仕方を知らず、八王子高校水泳部の応援方法やワンプバを卒業生が教えてくれました。チームとして動くこともこれまであまりできなかったため、3年生から後輩に教えることも難しく各大会で苦勞もしていました。やっと以前のように行えることに感謝しつつ、チームとしても安芸が顧問のときから掲げている「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、今後も指導をしていきたいと思います。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、チーム全体の結束力が強まり結果に繋がります。またこの経験は次年度にも引き継がれ良い連鎖が生まれます。水泳部の良い伝統を今後も選手たちに引き継いでいってほしいと思います。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。今年度の結果も多くの方々に支えられた結果だと部一同感謝しております。2024年度に向け気持ちを引き締め、来年度も東京都で男女総合優勝できるよう頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



甲子園“1勝”をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の第104回全国高校野球選手権大会西東京大会5回戦で、國學院久我山に延長10回5対6でサヨナラ負けを喫してから約2か月が経



った9月、新チームの公式戦が、2022(令和4)年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まり、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策として、野球部員、学校関係者5名以外、会場への入場が認められない無観客で行われました。

1回戦の相手は本郷です。1回裏、1番打者の寺内夕萌(2年)がライトオーバーへの二塁打を放って出塁すると、2番打者松下知樹(2年)の送りバントで一死三塁となり、3番打者の保光貴(2年)のショートゴロを遊撃手がエラーして寺内が生還し1点を先制しました。3回表、二死一、二塁から相手3番打者の三塁打で2点を取られ逆転されました。その裏、一死二、三塁から3番打者保のレフト前ヒットなどで3点を取り逆転、4対2としました。5回裏、この回先頭打者の寺内が右中間へ二塁打を放って無死二塁、送りバントで一死三塁とし、4番打者比留間智大(2年)のレフトへの犠牲フライで1点、続く5番打者で主将の山田昊志郎が左中間への二塁打で二死二、三塁となり、6番打者永井天斗(2年)のライト前ヒットで2点を加えて7対2となり、この試合の主導権を握りました。7回裏、この回先頭の4番打者比留間がレフトオーバーの二塁打で出塁、一死後、6番打者永井の三塁への内野安打で一死一塁、三塁となり、7番打者北條葉琉(2年)のレフト前ヒットで1点、続く6回裏、代打で出場し7回は捕手のポジションについての豊田俊治(2年)のレフト前ヒットで1点を加えて9対2、7回コールド勝ちで次へ駒を進めました。

次の試合は、本大会出場がかかるB代表決定戦で、相手は明学東村山です。1回裏、相手投手は立ち上がりに安定さ欠き、1番打者寺内夕萌(2年)に四球を与え、2番打者の松下知樹(2年)の打球をサードがエラーして無死一、二塁、3番打者の保光貴(2年)にも四球を与えて無死満塁とチャンスが広がり、ダブルプレー崩れの間などで2点を取り先制、二死一、二塁から6番山田昊志郎(2年)、7番永井天斗(2年)のレフト前への連続ヒットで2点を加えて4対0とし、この試合の主導権を早々と握りました。相手打線は湿りがちで、二塁打を1本放ったものの、先発投手の鈴木裕晴(2年)に3回をヒット2本に抑えられました。2回裏に3番打者保のレフトオーバーの三塁打で1点、3回裏は1番打者寺内のセンターオーバーの三塁打などで2点を加えて7対0としました。4回裏に1点を加え、5回裏、無死一、二塁から2番打者夏下のサードへの内野安打で1点、3番保のレフト前ヒットでさ

らに1点を加えて10対0、5回コールド勝ちで本大会出場を決めると同時に、2023(令和5)年度春季高校野球大会本大会への出場も決めました。

10月上旬、秋季東京都大会本大会が始まりました。本大会は、昨年に引き続き、マスク着用、検温確認表の提出、手指消毒、観戦者の人数制限、観戦方法の規制、球場への持ち込み品の規制など、『新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン』に基づいて様々な新型コロナウイルス感染防止対策が講じられる中、有観客で行われました。

1回戦の相手は都立小平です。1回表、一死後、2番打者の松下知樹(2年)の左中間への二塁打でチャンスを作り、二死後、4番打者比留間智大(2年)のショートゴロエラーで松下が生還し1点を先制しました。3回表、一死二塁から2番松下がライトオーバーの二塁打を放って1点を加えて2対0としました。続く4回表、この回先頭の5番打者山田昊志郎(2年)、6番永井天斗(2年)のセンター前への連続ヒットと送りバントで一死二、三塁のチャンスを作り、二死後、9番打者で先発投手の鈴木裕晴(2年)のライト前ヒットで2点が入り4対0とし、この試合の主導権を握りました。その後、6回表に1点を加えて5対0とし、7回表、一死後、3番打者保光貴(2年)がライト前へヒットを放って出塁すると、続く途中交代の4番引田武蔵が四球を選び一死一、二塁とチャンスを広げ、続く5番打者山田のライトオーバーの三塁打で走者2人を還して2点が入りました。その裏を0点で抑えて、結果7対0、7回コールド勝ちで2回戦へ駒を進めました。この試合、先発した鈴木裕晴は相手打線を散発6安打、奪三振11と好投し、エースの投打にわたる活躍と主将の一振りで勝利をものにした試合でした。

2回戦の相手は、4年前の2018年の秋季本大会では2対3で惜敗し、5年前の2017年の秋季本大会では3対4でサヨナラ負けを喫している強豪校の岩倉です。1回は両チームともに出塁したものの得点までは至らず、2回は両チームともに三者凡退に終わりました。3回表、一死後、9番打者で先発投手の鈴木裕晴(2年)がセカンドゴロエラーで出塁すると、1番打者の寺内夕萌(2年)がライト前へヒットを放ってチャンスを広げて一死一、二塁とし、続く2番松下知樹(2年)右中間への二塁打で1点を先制しました。その裏、二死から連続ヒットとエラーがらみで1点を取られて1対1となりました。6回表、この回先頭の4番打者比留間智大(2年)がレフト線へ二塁打を放ち出塁し、続く5番引田武蔵の送りバントで一死三塁とチャンスを広げ、代打北条葉琉(2年)のレフトへの犠牲フライで1点を取り、2対1と勝ち越しました。7回表、2本のヒットなどで二死一、三塁として追加点のチャンスを作るものの、あと1本ヒットが出ず無得点に終わりました。その裏、岩倉は二死二塁の得点チャンスを作り、7番打者がレフト前へヒットを放つ。二塁ランナーが一気に三塁を回り本塁突入を狙いますが、レフト北條からの好返球でタッチアウト。2対0のまま8回は互いに三者凡退に終わり、9回表、2つの四球などで二死一、二塁の得点チャンスを作るものの、7回同様あと1本ヒットが出ず無得点に終わりました。その裏、一死後、3番打者がセカンドへの内野安打で出塁、続く4番打者にカウント2ボール1ストライクからストライクを取りにいったボールをジャストミートされ、レフトスタンドへ運ばれてしまいました。結果、2対3のサヨナラ負けを喫してしまい、これで岩倉とは3試合連続で1点差負けとなってしまいました。先発したエース鈴木は、8回まで打たせて取る丁寧なピッチングを続けて、被安打5、四死球2、失点1に相手打線を抑えていましたが、鈴木にとっては1球に泣き、とても悔しさが残る試合だったと思います。この結果、来年度の春季本大会の初戦は、1回戦からとなりました。

年度が変わった4月、春季東京都大会本大会が、秋季東京都大会本大会同様、健康のチェックや管理の徹底、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底などが盛り込まれた『新型コロナウイルス感染症

対応ガイドライン(有料観客試合)』に基づいて、有観客試合を原則として始めました。わが野球部は、前述しましたように、前年度の秋季東京都大会一次予選で勝ち上がり、本大会への出場を決め、同時に春季東京都大会本大会の出場も決めていました。

1回戦の相手は豊南です。1回表、1番打者寺内夕萌(3年)がライト線へ二塁打を放って出塁し、送りバントで一死三塁とし、3番打者北條葉琉(3年)のライトへの犠牲フライで1点を先制しました。3回表、この回先頭の8番打者田中祐翔(3年)が四球を選んで出塁すると、続く9番鈴木裕晴(3年)も四球で出塁して無死一、二塁となり、1番寺内のレフト前ヒットで田中が生還して1点が入り、2番打者引田武蔵(3年)の送りバントで一死三塁とし、3番北條のセンターへの犠牲フライで1点を加えて3対0とし、この試合の主導権を握りました。5回表、二死後、1番寺内がデッドボールで出塁、続く2番引田は四球で出塁して二死一、二塁とし、3番北條のライト線への二塁打で二塁ランナー寺内が本塁を踏んで1点を取り、4対0となりました。その裏、1点を返されましたが、先発投手の鈴木裕晴は、6回以降、豊南打線を各回三者凡退に抑え、結果、4対1で勝利し2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は日本ウェルネスです。1回裏、1番打者寺内夕萌(3年)がレフト線へ二塁打を放って出塁すると、続く2番松下知樹(3年)のサードへの内野安打で無死一、三塁とし、3番北條葉琉(3年)がライト前へヒットを放ち、三塁ランナー寺内が生還して1点を先制、さらに無死一、三塁から4番打者比留間智大(3年)のショートへの併殺打の間に、三塁ランナー松下が本塁を踏んで1点を加えて2対0としました。その後もヒットと2つの四球で二死満塁とチャンスを作りましたが、8番打者田中祐翔(3年)が三振に倒れてチェンジとなりました。2回表に内野ゴロエラー、ヒット、死球などで1点を返され2対1となりました。4回裏、この回先頭の8番田中がサードへの内野安打で出塁し、続く9番打者で先発投手の鈴木裕晴(3年)の送りバントを相手投手が一塁へ暴投、無死二、三塁とチャンスが広がりました。1番打者寺内への2球めが暴投となり3塁ランナー田中が本塁を踏んで1点が入り、3対1としました。7回裏、二死から3番北條、4番比留間の連続二塁打で1点が入り、4対1とし、終盤ながらこの試合の主導権を握りました。先発投手のエース鈴木裕晴は、持ち前の打たせて取るピッチングで、相手打線を被安打5、奪三振5、四死球1、失点1と抑え、結果、4対1で勝利し3回戦へ駒を進めました。

3回戦の相手は、第2シード校の二松学舎大附です。今春の第95回記念選抜高等学校野球大会に出場、過去に春のセンバツ甲子園大会に4回、夏の甲子園大会に5回出場している強豪校です。1回裏、1番打者にセンターへの先頭打者ホームランで1点を先制されました。2回表、この回先頭の4番打者比留間智大(3年)がショートへの内野安打で出塁、一死後、6番打者の山田昊志郎(3年・主将)の送りバントで二死二塁と得点チャンスを作り、続く7番引田武蔵(3年)がセンター前へヒットを放ち、二塁ランナー比留間が本塁へ突入しますが、中堅手からの矢のような好返球でタッチアウトとなり、得点できませんでした。4回裏、二死から4番打者に左中間へホームランを放たれ1点を加えられ、0対2、2点を追う展開となりました。6回裏、二死一、三塁から5番打者にレフト前ヒットを放たれて三塁ランナーが生還し0対3とされました。7回表、この回先頭の5番打者豊田俊治(2年)がセンター前へヒットを放ち出塁すると、相手先発投手が降板し、背番号1番のエースがマウンドに立ちました。6番打者山田が死球で出塁して無死一、二塁とチャンスを広げますが、7番、8番と凡退。9番打者で先発投手の鈴木裕晴(3年)に代わって織田翼(2年)が打席に立ち、四球を選んで二死満塁とさらにチャンスを広げますが、続く1番打者寺内夕萌(3年)の打球はショートゴロとなり、無得点でチェンジとなりました。その裏、一死から死球とサードへの内野安打などで二死一、三塁のピンチ

を迎えましたが、鈴木をリリーフした志民虎太郎(2年)が次打者をサードゴロに打ち取り、ピンチを凌ぎました。8回表、一死後、3番打者北條葉琉(3年)がセカンドへの内野安打で出塁すると、続く4番比留間がレフトオーバーの三塁打を放って、一塁ランナー北條が生還して1点を取りました。二死三塁となり、6番打者山田の相手の意表をつくセーフティーバントで、三塁ランナー北條が本塁を踏んで2対3、1点差としました。続く7番打者志民に代わって川添皓生(3年)が打席に立つと、カウント1ボール2ストライクから2球ファールで粘った6球目を左中間へ運んで二塁打とし、一塁ランナー山田が生還して3対3の同点とし、一気に試合を振り出しに戻しました。その裏、代打で出場した川添がマウンドに立って無得点に抑え、9回は互いに無得点で終わったため、延長10回から無死一、二塁からの攻撃となるタイブレークに突入しました。10回表、この回先頭打者の5番豊田がレフト前へヒットを放ち無死満塁とし、続く6番山田への3球目が暴投となり、三塁ランナー北條が本塁を踏んで1点を取りました。一死二、三塁から、7番打者川添のレフトへの犠牲フライで1点を加えて5対3とし、さらに二死満塁となって得点チャンスが広がりましたが、1番打者寺内はセンターフライに打ち取られてチェンジとなりました。その裏、相手打線は1番から始まるという好打順でしたが、投手川添が三者凡退に抑え、結果、5対3で勝利し、4回戦へ駒を進めました。また、この大会ベスト16に入りましたので、夏の選手権大会のシード権を獲得しました。この試合を振り返ると、中盤まで得点チャンスを作るものの、あと1本ヒットが出ない展開でしたが、終盤からは自分たちの積極的な打撃が出来て、良い形で点を取ることができた試合だったと思います。また、リリーフした投手もよく踏ん張ってくれて、チームに勝利の波を持ってきてくれた試合だったとも思います。

4回戦の相手は、第5シード校の早稲田実です。この大会は2回戦から登場し、初戦、次戦ともに後半の猛攻で勝ち越し、逆転勝ちをして勝ち上がってきた強豪校です。当初は、4月16日(日)10:00都営駒沢球場で行われる試合でしたが、4月15日(土)に行われる全試合が雨天中止となり、それに伴う日程変更によって4月17日(月)10:00に順延となりました。1回は互いに三者凡退で終わり、2回表、一死後、5番打者豊田俊治(2年)がセンター前にヒットを放って出塁、6番山田昊志郎(3年・主将)のサードゴロで二塁に進塁して二死二塁とし、続く7番打者引田武蔵(3年)のライトオーバーの二塁打で、二塁ランナー豊田が生還し1点を先制しました。5回に入ると雨が降り出し、5回裏、二死二塁から2番打者に右中間へ三塁打を放たれて1対1の同点とされ、さらに4番打者のショートへの内野安打で三塁ランナーが本塁を踏んで1対2と逆転されてしまいました。6回、先発投手のエース鈴木裕晴(3年)、相手投手が力投して互いに得点を入れることができませんでした。7回表、二死後、7番打者引田武蔵(3年)が四球を選んで出塁、続く8番田中祐翔(3年)は四球を選んで二死一、二塁とし、続く9番打者鈴木に代わって川添皓生(3年)画」打席に立ちますが、ライトライナーに打ち取られて無得点に終わりました。その裏、代打で出場した川添が好投して三者凡退に抑えました。8回表、二死後、3番打者北條葉琉(3年)がレフト前へヒットを放ち出塁すると、続く4番比留間智大(3年)が四球を選んで二死一、二塁とし、5番打者豊田が3ボール2ストライクのフルカウントから2球ファールで粘った8球目を右中間へ運んで三塁打とし、ランナー2人がホームを踏んで2点を取って3対2、逆転に成功しました。さらに6番山田が四球を選んで出塁すると、次打者引田の3球目に盗塁して二死二、三塁とチャンスを広げましたが、引田はライトフライに打ち取られて追加点は取れませんでした。その裏、この回先頭の5番打者に左中間へ二塁打を放たれ、続く打者の送りバントを投手川添が一塁へ悪送球し無死一、三塁とされました。続く7番打者のレフト前ヒットで1点を取られて3対3の同点とされ、8番打者のサード前への送りバントが内野安打となって無死満塁、さらなるピンチが続きます。9番打者に四球を与えて押し出し、1点を加えられて3対4、再度逆転さ

れてしまいました。ここで投手を川添から志民虎太郎(2年)へとバトンタッチ、志民も続く1番打者に四球を与えて押し出し、3対5となって点差は2点と開いてしまいました。ここで雨が激しく降るようになり、36分間試合が中断しました。再開後、マウンドには佐藤順成(2年)が上がりました。2番打者をサードフライに打ち取って一死を取ったものの、3番打者にレフト前へヒットを放たれて1点を加えられました。早稲田実はこの回打者10人で4点を取り、6対3として攻撃を終えました。3点を追う9回表、この回先頭の8番打者田中に代わって三上宗佑(3年)が打席に立つと、ライト前へヒットを打ち出塁、一死後、1番打者の寺内夕萌(3年)がレフトオーバーの二塁打を打ち、一死二、三塁とチャンスを広げました。2番打者の松下知樹(3年)に代わって古川陸(3年)が打席に立つと、ライト前へのヒットを打ち、三塁ランナーの三上が生還して1点を返しました。続く3番北條のレフトへの犠牲フライでさらに1点を返して5対6とし、1点差まで迫りました。二死一塁で打席には4番比留間が立ちますが、センターフライに打ち取られてゲームセット。結果、5対6で敗れてしまいました。

7月8日(土)、第105回全国高等学校野球選手権大会東・西東京大会開会式が神宮球場で行われました。新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、5月8日(月)に2類から5類に移行したことに伴って、「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」が廃止され、コロナ禍前の形式に戻って4年ぶりに全選手が参加した開会式でした。また、東東京大会・西東京大会のすべての試合は、検温確認表の提出がなくなり、観客席での応援に関する規制もなくなり、声出し応援なども可能となり、コロナ禍前の形式に戻りました。

この大会は、春季本大会でベスト16入りしたことで第5シード校となり、3回戦から出場しました。初戦の相手は、強豪校の日大鶴ヶ丘です。開会式直後の初戦、2回戦とコールド勝ちを収めて順当に勝ち上がってきたチームです。1回表、先発投手のエース鈴木裕晴(3年)は相手打線を三者凡退に抑えました。その裏、先頭打者の1番寺内夕萌(3年)がライト線への二塁打を打ち出塁すると、2番三上宗佑(3年)の送りバントで一死三塁とし、3番打者新井唯斗(1年)への3球目が暴投となり、三塁ランナー寺内が本塁を踏んで1点を先制、相手投手の立ち上がりを攻めました。2回表、この回先頭の4番打者が四球を選んで出塁すると、5番打者の送りバントが野選となって無死一、二塁とされ、6番打者の送りバントで一死二、三塁とさらにピンチが続きます。二死後、8番打者のセンター前ヒットで、ランナー2人が生還し1対2、わずかに1安打で逆転されてしまいました。3回裏、この回先頭の2番三上宗佑(3年)ライト線への二塁打で出塁しチャンスを作ると、二死後、5番打者北條葉琉(3年)のライト前ヒットで二塁ランナー三上が本塁を踏んで2対2の同点にし、試合を振り出しに戻しました。中盤以降、両エースの力投で得点ボードに0が並びました。6回表、二死後、6番打者に四球を与え、7番打者のライト前ヒットで二死一、三塁とされ、続く8番打者がセンター前へヒットを放って、三塁ランナーが生還して1点を勝ち越されました。終盤は両チームともに得点チャンスを作るものの、リリーフ投手が互いに踏ん張って無得点に抑えました。9回裏、二死後、7回鈴木をリリーフしてマウンドに立った川添皓生(3年)が9番打者として打席に立つと、この試合2本目となるセンターオーバーの二塁打で出塁しチャンスを作りますが、続く1番寺内のレフトへのフライを左翼手に好捕されてゲームセット。結果2対3の1点差で惜敗しました。各大会を通じての敗戦の要因が、得点チャンスにヒットが1本打てないところにあるのではないかと思います。

これからは選手一人一人のレベルアップおよびチーム全体のレベルアップを図るとともに、チャンスに1本ヒットが打てる打者を育成すること、投手陣の鍛え直すこと、練習で取り組んできた自分たちの野球が試合でしっかりと発揮できるようにすることなど、大きな課題として取り組んでいきたいと

思いました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生25人を除いて、2年生23人、1年生20人、そして女子マネージャー2年生3人、1年生4人の計50人です。2年生の豊田俊治を主将とする新チームは、今夏の西東京大会での悔しい敗戦後、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップ、部員一人ひとりのレベルアップなどを図り、練習内容をより充実させて、火曜日を除く6日間、日が暮れるまで練習に励んでいます。さらに、8月中旬は、例年通り関西遠征に出かけて、大阪桐蔭や天理などの強豪校を相手に練習試合を重ね、実戦力も磨き上げてきました。

2023(令和5)年度の秋季東京都大会は、9月3日から一次予選(ブロック予選)が始まり、わが野球部は、残念ながらブロックの代表決定戦で、聖パウロ学園に0対7、7回コールド負けを喫して、8年ぶりに本大会への出場を逃してしまいました。新チームは、長い鍛え直しの期間を経て、来年春季一次予選から再スタートします。甲子園“1勝”をめざして、甲子園でバックネットを背にして校歌を歌うことをめざして、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉に、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《戦績》

◇2022(令和4)年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第22ブロック 1回戦 2022.9.4 於：八王子高校柚木野球グラウンド

本郷 0 0 2 0 0 0 0 2

八王子 1 0 3 0 3 0 2× 9 (7回コールド)

投手一捕手：鈴木(2年)一三上(2年)、豊田(1年)

第22ブロック B代表決定戦 2022.9.17 於：八王子高校柚木野球グラウンド

明学東村山 0 0 0 0 0 0 0

八王子 4 1 2 1 2× 1 0 (5回コールド) **[本大会出場へ]**

投手一捕手：鈴木(2年)、伊藤(1年)一三上(2年)、豊田(1年)

◇2022(令和4)年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 2022.10.09 於：スリーボンDstadium八王子

八王子 1 0 1 2 0 1 2 7

小平 0 0 0 0 0 0 0 0 (7回コールド)

投手一捕手：鈴木(2年)、一田中(2年)、三上(2年)

2回戦 2021.10.15 於：江戸川区球場

八王子 0 0 1 0 0 1 0 0 0 2

岩倉 0 0 1 0 0 0 0 0 2× 3

投手—捕手：鈴木(2年)—田中(2年)

◇2023(令和5)年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 2023.4.3 於：スリーボンドスタジアム八王子

八王子 1 0 2 0 1 0 0 0 0 4

豊南 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1

投手—捕手：鈴木(3年)—田中(3年)

2回戦 2023.4.5 於：コトブキヤスタジアム(旧名：市営立川球場)

日本ウェルネス 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1

八王子 2 0 0 1 0 0 1 0 × 4

投手—捕手：鈴木(3年)—田中(3年)

3回戦 2023.4.9 於：都営駒沢球場

八王子 0 0 0 0 0 0 0 3 0 2 5

國學院久我山 1 0 0 1 0 1 0 0 0 0 3 (10回タイブレーク)

投手—捕手：鈴木(3年)、志民(2年)、川添(3年)—田中(3年)

4回戦 2023.4.17 於：スリーボンドスタジアム八王子

八王子 0 1 0 0 0 0 0 2 2 5

早稲田実 0 0 0 0 2 0 0 4 × 6

投手—捕手：鈴木(3年)、志民(2年)、川添(3年)、佐藤(2年)—田中(3年)

◇第105回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 2023.7.14 於：スリーボンドスタジアム八王子

日大鶴ヶ丘 0 2 0 0 0 1 0 0 0 3

八王子 1 0 1 0 0 0 0 0 0 2

投手—捕手：鈴木(3年)、川添(3年)—田中(3年)

同窓会役員及び同窓会選出法人役員名簿

令和5年10月1日 現在

◇八王子学園同窓会役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
会長	山田 実	高25回	昭48年卒
副会長	根本 明	高16回	昭39年卒
会計	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
〃	池上 洋平	高59回	平19年卒
理事	田中 克子	高14回	昭37年卒
〃	佐藤 忠雄	高20回	昭43年卒
監事	坂本 利男	高8回	昭31年卒
〃	長谷部 建司	高16回	昭39年卒

◇八王子学園法人役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
理事	山田 実	高25回	昭48年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
評議員	山田 実	高25回	昭48年卒
〃	田中 克子	高14回	昭37年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
〃	長谷部 建司	高16回	昭39年卒
〃	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
〃	佐藤 忠雄	高20回	昭43年卒
〃	池上 洋平	高59回	平19年卒

八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>